

山行番 NO. 1501  
日時 2012.05.19(土)  
山域 富士山登頂と山岳スキー  
参加者 後藤隆徳(65歳3ヶ月)、井上弘二郎(42歳5ヶ月)、諏訪部豊(57歳9ヶ月)  
標高差 上り 富士宮五合目約2380m~頂上3776m=1396m  
下り 富士宮口鳥居西約3730m~新六合目約2500m=1230m



### 1. 富士宮口五合目発 5:50

週末は大きな高気圧にスッポリだった。今週は登頂の可能性を感じた。五合は凄い車。6時前気合いで出発。新六合からアイゼンを履く。2人は既に遅れたので、また一人旅。ただ、今週は無線機を持参したので意志疎通はOK。荷物は約15Kg。重く感じないが、軽くもない。軽量化でピッケルをどうしようかと思ったが、結果的には、持参して良かった。

### 2. 九合目標高約3400m 10:30

九合に達した。標高は既に先週より上。相変わらず一人旅だったが、二人はまあまあ順調に上っている様子。まあ、二人とも素人でないので安心。

ここで73歳の方に会った。登山のみだったが、「スキーが出来ればやりたい」と話していた。洗練された方で、全く歳を感じさせなかった。

ほか、日食を頂上で観察する若い衆がいた。今日と明日、頂上で二泊するそうだ。



### 3. 剣ヶ峰 11:40

久しぶりの剣ヶ峰だった。富士山は条件が揃わないと中々上れない。つまり「4K」が必要だ。1. 快晴 2. 高温 3. 風がない 4. 霧が出ない、である。特にスキーの場合は、4番目が肝心になる。

富士宮五合目から6時間弱。スキーを背負って何回上っても厳しい山である。今年は雪が多く最高点標柱より上の旧測候所屋根に簡単に上れたので、推定標高は「3780m」くらいと思われた。これはこの時期だけの体験。





剣ヶ峰



左下が最高点標柱



滑落停止用ピック付きストック



ドロップ・ポイント（6月23日撮影）



#### 4. 滑降開始 12:30

頂上から滑降地点の富士宮口頂上鳥居西に戻る。ここの標高は約3730m。正に日本一の滑降点である。

丁度Sがいたので一緒に準備をする。Iは今、鳥居を潜り到着した様子。

滑降点から下を見ればかなりの傾斜。ただ、雪が柔らかければ問題はない。

少し前に滑った女性がターン出来なくて泣いていた。ここは思い切りが必要。少し下ればもう問題はない。



##### 5. 新六合着 14:00

スキーは、新六合まで滑れた。  
途中、少し霧が出たが、こ  
こまで滑れば大満足。直下で  
泣いていた女性も無事着いた  
ここからスキー

15分ほどで五合目着。今年は雪が多く、  
しばらく楽しめそう。  
今日の凱歌に足取りは軽かった。